讀む第一線の勇士鐵兜姿で故郷の新

5 を

上海戰線一航空便

遁走の敵に追撃の火葢切る

## 遂に忻口山陣地を占領 「共へ記答鍛錬シテ立派ナ張イ関民トナ

>山西戦線 陸の空軍線路

戰局日記 医固

**原体地を嫌辱、地上部隊の追** 

◆律商戰線 德州治安維持

程度により二十一日午前九時

# 连 博 用 壯烈極まる行本部隊の奮戰

|原平鎮廿一日同盟||我が行本部隊の忻口山陣地占機戰は言語に絶する程の激戰であつた、即ち二十一日眞紅な夕 原半鎮廿一日同盟]忻口山高地の陣地を攻撃中の我が行本部隊は二十一日午後五時四十五分途に作口平地を一目 西共産軍は南方に向け潰走中である

『敵陣中に躍り込み手榴弾の雨を物ともせず、右往左往する山西共産軍を片つ端から突き殺し廻滅的打撃を興へが西に没せんとする頃、行本部隊長を先頭に山の地隊を傳つて前進、敵前二十米に達するや銃劍を閃かせて突 山も破れるばかりの萬歳を叫んだのであつた

**綵田部隊總攻撃** 

**を開始し午前八時同方面の舊陣地たる一千三十三高地を完全に占領し引續き附近高地の敵を西方に向け** 井陘南方高地を占領

**彰是附近上空に現はれ酸の有** | 時令村千田兩主力部隊麾下の海軍 | 浦東の頭酸の機能匹院建 航空隊〇〇後は監戦隊の作戦に脚

DO機は朝護をついて大場鎮、南 【上海二十二日同盟】本日午前十 「魏したが珠に今村部隊のOUを行

宜漢線双闢二十二日阿盟』二十

激戰三時間で擊退

最初から經濟制裁

【上海廿一日同盟】 〇〇穿近部午 逆襲の敵撃退 羅店西方でも

部製と共に巡襲し来つたが佐野、路陵戦隊の舞踊風域に對して突如

製造した、また同時刻団古田部隊 搬戦三時間の後大批割を與へ離を

土師解析隊はこれに

たが陸戦隊は全根に正り反撃しと 正面に相信機なる離の動きがあつ

果上り江上艦艇に對して砲撃を一土の張くましい艦駅の結果によるを選走せしめた。また同時到図 〇〇部隊の新年占額は天の如き暦

武力壓迫は間違い



は二十一日午後下院において九ケス首相ネヴイル・チェンパレン氏

英國首相、態度闡明

### 

交那はどう 世紀八百の羅列以

めもなからむ

ことで現伊が頭症は色、に日本を支持すべきか! 西台灣招前駅を充分傾割 た突つ窓子べし しなてく勇士

来るの窓への配金、大

か要開化されたでは、

口夕刊四頁

飛躍的向上を示し て例年好評。 明~』¥ 8.00 納物澄料 47

『國際特典業株式會社に入答明年一月一日より開設を明年一月一日より開設 十五日他の人和と共に正新規就任に仲宗統任には密規就任に仲宗統任には諸規就任に仲宗統任には著述の企 **賃付二十二日の脚議におるのでこれに先立ち松非** 松井

「概公布と何時にこれに

横鬼鱼鱼 國家學家

発展官は古田大佐、坂本度切に左の日曜で行ばれ 以源局 長官辦任 四、岩部各市佐、熊谷、 

わが装甲列 禹城の敵を砲撃

100 相次いで作れての他死骸者多

は味方の婦を乗り越えて肉弾を以

加へた上窓及我が神地に隠遠したながら二十一日午前八時頃周妹院ながら二十一日午前八時頃周妹院を乗り頭はは説敬彼場所を集団し

ア自由黨領袖に護き権東問題

晒 内腺養質局は二十五

**出場ボクリークを渡河し新宅に斬「窓宮を部道して前郷将士の取締り「めの郁像の一斑と酵される上村宿園は決死の勇士五十名を選」に軍法執行分鬼を設けて多数の者「罪を以って臨い職総秩序律」** 

能を以って臨い職職秩序維持のた 戦隊の後方にありて更に死刑の職 もいふべき惟限を有するもので替 之等質殊官は職地のゲ・ペ・ウと 投降兵の領田並に守備戦地の無職した、中央より前級に抵遣される「上海中」日同盟」支那戦級では「に任する旨」十一日附忠」支那戦級では「に任する旨」十一日附を以て褒妻

吉川少佐戦死

遂に督察官を派遣

紊亂その極

**基準局具官** 

員を即せつけらる、また母審議會審議官、學習院証牒次で現在の宗教保護表示。

の成計局長近迭 関連することになり下 関連することになり下 **養羅師**班官 平木 附続計局長 長春川

五十後二時二十八分京城二十十後二時二十八分京城、開前屋へ 次城、開前屋へ 3人城、開前屋へ

地支貨

たも出れくせた。

1

京城府本町二丁目 那一点, 那一点一次。 那一点一点,一点本部的一个一点,

御婦人用、エンヂ,糾,グリン 45cm ¥ 23.50 g. t

MASSIEM·MYSAIEM·MYSELEM·MYSELEM·MYSEL·MYSEL·MYSEL·MYSEL·MYSEL·MYSELEM·MYSELEM·MYSELEM·MYSELEM·MYSELEM·MY

『は中四日の京城、龍山 軍下に於ける本年度の青 明後日蓋開け

間日程年訓練所

根本方策を樹立

臨時數育審機委員會設置に就て

朝鮮人移民列車は

蘇聯に驚いた農民の伜から 父に詫びた列車からの手紙

獻納の新運動

同時に各道警察部と関力して日本

『櫻號よ、出よ

靴下を編んで戦線

臨時教育審議委員會

委員會職員

| 5軍馬の乾草五萬耶 |

×京師が高射輕機

自轉車を七十台

中心今晩ワラダオ

美しい緑の黑髪!

H

生々ごした

若さこ美しさ

これこそ「るり羽」の持つ魅力

一、糖洗ひせずとも高ぐ染り ・ 機成を出さず永く保つ ・ 日本整体契何れにも出く

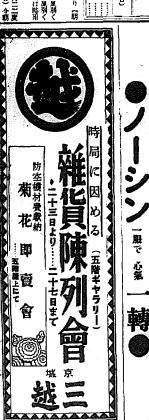
近く檢事局へ送らる

天氣豫報 公忠

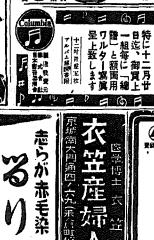




~



ひごい巡查 遺職公割







マメび十光生



ータルワ・ノー 湊 演 クッニモアハルィフ・ン・ 図 巣 紋 管

兄城腦病院

金貨 千葉 商會

(月刊カタログ進星)

內科一般特別

建築の申請



後に二十九脚台へは乗りは頼れ逃く者

一龍踏貞丈演

倮 茂州高

**備手をついて開いてるた松井助** 變人の怒を買ふ た。宋の間にするこの出版にする 南が子子 丘本の道に数へられる

**阪地に於ける必需筋は今** に於ける正米の取引具合 不筋氣預け

種つたので一切貨幣へ、大した人のと思心をこうある。ヤー (1) こうでも方では、オラ文上つた遺像が、サラリと大機つて現在質謝まんと たの何だのと人の事を機能やかつ これな奴だと担ったが、世間の鞭 おろがとは、どうとのた時に名ん 三関いた。有明な段だ、精明言

限の田来値を記憶とし、の間の思釈を聞くと、正確が年の一一)。 が、間になってゐて、一方の上に単打 は既だ、男の汚れになる。サア此 のやった人に那の刀を発きするの の二十兩を持つて、サッサと闘ウ て異れ、エト明だ、闘つて異んな

防護は蘇り出來ない

みの市場である。 面に突を次んで切太突。 戦へ入って了つた、呆黒に取られて射赤帆めの産地頭強に、うに操然とする位の針に剝た、 ボッッリュ電けて、アノヤッと締め日戦戦力に関数を格才た、名級、携束から水を用だられたで、 ヴッリュ電けて、アノヤッと締め上、米温/音・ 南峡は間、特達演演をして戦へ上げたる所の ・ 豊原リュルマー・ 戦の陸チエー 米温/音・ 井四郎海棠が、三七二十一日の間大神薫いて繰れば、常代の名人安 精進部廃棄して敷へ上げたる所の 東だ、願つて奥んな。」 さい、野く、何とうたっ

となる。やも知れない成

ませうか、何とも価値の申しやう「助っそうだ作助、願いたな」子セ 助「是こそ家の重要とと一見く図」で見なって居たが、仕方がないか 面に突を含んで助太夫。 ら伴助を連れて表へ出た

川正米市況

総数字に厳を得たる例とでも申し

| CATHENNICAN | CATHENICAN | CATHENNICAN |

ķ,

て五十兩にして出すらかと思った。 が、イヤくなうでない、斯立の - 人物だから、又でんな武郎をし Pour

やっとなかあればあるものだい

て怒られでもしてほならないと無。 たから、云はれる俗に、小樹葉 明で其でも現金小刀・工質がにないら懸られたんで。 を知りなから斬れるかなどと云 H「どうも具那全日のは豊所の方 点思いや、先方の母り者と云小市 つたにしる、是は斬れるか位のも

助『安非先生、私れは斬れませる】 夫も除り盛しかつだので、一旦精 へ納めたのを叉引拔いて、ためつ 止せば宜かつたのだが松井助太 伴「マア化方がありません、どうは云ふではないか」 りましたが、排入間と云ふものは にかなりませる **花然して松井助太夫ほか永へ豬** 

TATAL TATAL

すがめつ見て居りましたが、

門「曜に成成しました」

はれたのではく欲しくなりまして 常、安井四郎所兼かやらないと云 云はれると立聞をしたいのが他の 妙なもので、見て思いし云はれい に見たくなるし、聞いてならんと 二度三度改めて詫びて頼んだが缺

然其の縦を引奪つて了つた。 兼が、パッと助太夫に飛躍いて突

と云ふと似に目の色を顰へた街

生

四アレジやアれる

7

助太夫をハラタと睨んで、パタ

東役へ手髪を頼んで話をして驚つ ないんだらうから諦めようと口に 楽しやうかない。仕方がない、様が は云へど心の内では、却々諦める たが消骸が水知を致しません、種 々がへて見たがどうにもモウ手の

こと、ボーンと後の下へ投り込ん

人 ベタノーと住事場へ聴けて行

所ではない、折がのつたら宜い手 蔓があつたらと思って居りますと 聞らずも此の倒が松井助太夫の手

事を云ふやうだが、今日本で刀鹸

「何を云やすがろんだ。大きな

Telegraph A version (中) 田)

A version A versi

目白井商店 那引員

電話代表本高二二0

に入るやうな時が参りました。

7



以た戦闘を續けてゐる、黃河と

開海線は、洛國時代列

駅出、浴場を鯉て厳勝に達して

江蘇河南南省を西進して彼州、雲福埠頭を起點に黄河に滑うて

變

Aあり、黄河北岸の戰機は漸く熟して來た 征駭河を決潰させて我軍の攻撃前進を阻まんとしてをり、これに對して我軍は作職協點を確保するため前

年一一一一个事務表 【天津二十二日同盟】午後四時半軍司令部發表 一赤柴部隊は二十二日午前九時陵縣

我前面に配備

会積けたるる死亡に對して、二十

黄河方面に退却

空軍の來跳を小艇なりと我か陸の | 無に挑破して遠く窓安に飛び、午

前九時上り一時間に亘り機弾の雨

西の山岳地帯に據り南方目がけて一段三段の峻嶮な天然の要歌に上

のろ我が海の荒落軍は本日午後五一開北のの蘇陳地に緩緩な振騰を加【上海廿二日同盟】和田少佐の亳 | ○○機は韓敏隊の離職に蹴力し、

南京にも巨彈を浴す

多大の効果を収め全機無事態を

外蒙占據を企てる

る戦の機能で、総前線上我軍の左 | 大名を空隙间地飛行場並に観空施・現場方約十里、山東平野北部に於一て居るが、更にその一部隊は遠く 日排戦隊隊の開催を研究して午前 | 数た大塚戦を加へたので敵は大派。 戦中であつた赤僧部隊は、二十二 | 邑地方に姚和の廿九郎を空襲、果一戦の上龍の郷陣地を披き更に連 | く午後一時徳州県市万嘉王像及臨 側背を窺ってるた確は線御里摩下 に移構、批消線東方地區の敵を一する地上部隊前面の敵を爆撃する

午後十一時頃約五ヶ師の敵が大遊 の逆襲邀撃

本府の明年度豫算

概算四億五千萬圓

順徳の外人に

日午頃に引載さ年後も翼を選ね「を贈り手厚い保護を加へて居り、「標準中の中華部隊の精監は二十」無事で、我〇〇部隊は後藤に食糧 帰州二十二日回盟】○○根據地|る箕欧師その他、在留外人は全員

を得る程度に至り廿三、四日頃 日各局に内示し廿二日中には撤一が独行東上、大阪省と折衝をなす

海線壁に配明決理を仰ぎ、廿五一よれば四 億五千萬圓郡度と 見ら こととなった。現在までの概算に、重要数であることとなった。現在までの概算に、重要数である

南總督の メツセーヂ

研究會所屬議員廿餘名參集し

穗積殖産局長と懇談

月末迄に整理を行ふ

【上海二十二日阿盟】二十二日午

完全に爆破

和から昭和十三年度鎌草業の査 前十時首相官既に開會、實配

保料子酵始め所厭職員1十億名「麻琅痲薬問長はこれに就いて次の「申令セケ波等時乎投替した」「禁助破場する所あり三時放育した」「十二日の閣議で決定する」られて朝野に異常た転館を具へ」一致で内鮮一體の實を上げるべく「精局本問題の處理に関して:

告ぐ』と題する前穂皆のメツセー|東上中の铆環航車局長を招いて半

に使つて内地の準々調々にまでは、へ、重大時局に遭み今後一層官民 rは十九日ラデオニュースその他 | 島の銭後運動につき獲々駆義を変 |

九ケ國條約會議に

◇……北支職棚の皇軍はひた 押しに進撃を行け、平漢和前級

約一一五四哩、黄麻に面する連系と省像さるべきである。全良

に破死した字野大尉は韓原部隊長 代武艦を永く山西高原に留めたが 野た 五日忻日山の花と歌つた 開城口を中島山と命名で 明年停年といい老天以 長上り時に平削額口と れが最後の脚本立た 又十五日雨少佐と共

**商見の交換を行ふことに決し、** 短調

**以共闘争を**四

今 P 軍 保 0 險 戰 報 捷 國 奎 0 祝

秋 す

||張化の必要を周調して次の如||日正午門司解院の平安丸にて渡ぬ

上聞イタリー、ドイッ等くことになった。前先づ

反共 | おける徹既會に出席ののち、十四

、途中大阪、福岡剛市に、名十一月十日午後十時東

**需品を鹵獲** 莫大なる軍

ある

滞在し来春一月中旬時

年七廿治明業創

は魔を迎撃、軍雷品海戯の軍用列は魔を迎撃、軍雷雷において我快速部隊 【天建二十二日问题】 十八日间周



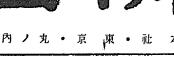
弾栗食料品多数あり十四門、小銃弾三十塩頭、豬種車輛二千五十

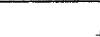
開発品は左の如く多

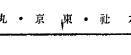
**学校生卒業** 



東 · 社









7、騎兵科、總兵科一千三地話】 春橋階軍教旗縣校生 實 堅 は 營 經

否れた、何れも直ちに 治は本日卒業の旨官律

佐長に任官、第一次

戦するはず

平江工廠を

ばテミット外型陸軍大臣が決る八一<br />
競表したにも拘らず、<br />
踏方面の<br />
滞 【東京電話】信ずべき情報によれ「親の結果機器中毒と判明した」と い疑惑を招いてるたが、その後外

**英四畦市村少島指揮の瀬軍航空屋、瀬角は「デミツト暦軍の死歴は撤」れつつあるとの樹群が傾りに奪べ、力援助の賃極器に對して、ヴォロ「上班「十二日同盟】「十二日年」スクで急遽したことは、常時メス「栗に使烈た良齢分子の帰溯か行は 一方ボゴロモフ駐支大使の異支銭** 

凹即氏 (を州中學校長) 年後七時三十分京城 人|||

本な打を受つ消車工事削減没の 練長の貨幣を日

義主一第仕奉

網係團體何れも賛意を表す

**此かに やえたことであつ 光づ驚かせたのは響の依** 

つ▲機基學の第一概で

響さんにその総と同じ 六枚の紙が描げられると けあつて用む 用野な駄に申 切り言葉の旅機▲正直 我つて下書きに歩中! の概を新聞紙で五十枚 て、依頼者があると、 れが又内心大いに得意 至五、六枚持つて來給 流石に歩者

名の下に外東軍を採出

とり君、この間の総は指見を見計つて佐蕪者が偃促 は総ち無残な審き扱ひ を持つて來て異れ始へ じつたよ、もうご、 夢とはどうやら伸が根

内決官の事務取扱をなずことに決

『就任に伴ふ後任穂起は、白田宮 「東京電話』木戸宗総界標底の文

總裁事務取扱 白根宮內次官

社

相談役 藤山 愛一郎 千龍名東 長渡邊甚吉

大鹿樹大 宮島河町 最深區門 即新岡京 梅岡山都 水 机 高 层 层 **乾京麗林** 

る目も氣の歌な躍の情景し來たと思へば……。と

他氏は速水塊及)

近路の依頼者がてんで無

部支地在所

深い ▲ところが、この話 **一氣たもの、心理感者は** 

いて恐れをなしたもの

んので、博士々やつと遊

喜んで人夫を志願

材料がなくて架橋に苦心

唆を興へる寓話がある。 昔、牛は

文家プルードの物語に面白い示

群に横んでみたが、 金物が不足

2であたる 数子は牛に移住して来

ことを許したが、その條件とし

見にある代りに、強い獅子が様

困ることに、そこには食物が

派兵が逃却に際して駆狀を擅にし

たものと見る選化狼籍、足の踏み | 中支那特有の職制(新聞代りに譲した)とか「上海に大震災が起つて

城間には、到る連絡日ピラー八楼飛来したが大楼まで打ち落し一つて情報として退却する態をまざ

却中だとか。日本軍の所行機が

てるたらしいが日本軍の無阻に達

全然虚報 であった事を知

世話をやつてゐる

機に覚されてゐる、住民一行する和遊機関で歴に貼付し住民

くはないが、城内も立御だしか「方力者らしいものが狙って何かと「本地に全滅的打戦を異へ艦は今返」民事も初めの中は道程度まではて「四二日」(昭刊)「御殿縣は大「治安維持者のイータをつけた所護」ある、監視には 7郎坊に於いて日「実施二波の覚厥をやつてゐる、住

○○部隊前線にて…

宮田特派員

、れる、

第役に對しては採酬を與一ろとする左手に配の概に切り立つ ○して炊事をの他の手続ひをして | あて實に奇騰な、時に対策に出よ

> 女子部代表、第一高女養、佐賈和 明治神宮競技に出場する状式医療

をしないのですつかり信。だけに娘は大部分が捨代だ。 駅じて住民に迷惑をみぼ 的に格の密地として知られてゐる

この球石製に面

女子庭球選手

した。そこで囃子は、得意の响 んた獣玉に喰れるやうでは其 限り、牛はその犠牲に甘ん。 ものであった、神様はこれも

そのであった。その日本が文明 時の日本は、正に建て貼き手に 一百年韓國時代から見ざ

一般の領後に登場した時、そこ 白人といふ哲子が

━球石發見にまつはる面白いエピソード━

南總督咸南北視察隨件記 0

の例子の前にほ返自重、戦十星階 七十年前の日本でけない。所し は、決して昔時の彼等ではない。 は漁業者で凝れてゐる、機管の用 要的神経在所で治安に**當つ**てゐる に百人足らず、漁業損勢のため内 趣湖に政府第二の研興施港た、人 利原署管内で本署の所在地の利原 こゝも新地面に様に 漁港遮湖の景氣

|でも鴻淵でも同じことだが、鰮の| 風熱や上端を窓の庭在として珍重 | が観の線な鈴簾だ石である、球石 | て浪打ち隠に打ち上げられる、今

れ、徹底でもまれて聞い石とだつ

されてゐる、總督府の表支膳や朝」は太田氏が大正九年發見するまで

|静静宮の影石として彼はれてある。はノルウエーから輸入されてあた。一ケ年に約一千五百噸の球石か各||神神宮の影石として彼はれてある。| はブロリカプロソ年第月でるまで | の所名楽蔵と天つて好いだらう、

てゐる、々鰈の頭も信心から々な

敬し、鰮大明神として三邦九拜し

非進い目に遂にされる。無理もな

んて軽けで

い、鯔から石鹹でダイナマイトが

人は《脳の神》として街を壁で歌

戦を附けた人や生魚の臭びのする

は新浦でも澎湖でも完全に駄殺さ

どうその例子の曖昧や時期 し、その症者は本町鎮理の比較

努力が想像される、照風丸の船室

の處。このほど決定したこれによ 観米の成職その他によつて人選中

**發氏)四名、清理部** 

陸上(三四名)

○無▲男子監督(護官)場登司馬
(護督府)郷商

らずの警官で整理し、大した犯罪

この作品を確かす名足して、月にかけい行っている。朝鮮

| 機方戦争の派遣選手については過 | 燃戦氏) 世名、飲文原務部(医育永 | 郷紙されてゐる

置選手で頻鮮スポーツ駅の課題を

物語ると共にこれ等選手の活躍は

牛は側ないが、出方がなく腹後し牛を演牲に供がる機利を要求した は考えない。原子は自分の仲間 ちに、牛の方は青草を喰ひ、 を沿びて段々に泰乗がよくなる

日計金百圓也 川回天堂内 回生會一同 片二 頭二十 七菱 山百圃 京城府本町三株式舎町森 累計 金 六萬 八干 七百五 意能されてみるが廿一日は国防婦芸芸林優の飲金は5つ高く本社へ 題して製めた世間、発州通一二 日町金で秋祭に町の神輿に築ま

### 北支戦線スケツチ 3 眞 道 黎明

本の選得をして答る。成に貼られた布告の中には「難詳量北朝前衆土」とか「彼此以本の選得をして答る。成に貼られた布告の中には「建立にはテーブルを持田し日本兵に受けられぬ、目拉の通りふ死んだやらに彼しい、近々にはテーブルを持田し日本兵にを避けられぬ、養養後の職対がしてある、勤難した市民は、手に手に日電波をかざしを避けるため我憲兵後の職対がしてある、勤難した市民は、手に手に日電波をかざし 機馬北西無軍馬流躍」等の文字が匹新しく見られる 一定 城(其二) 民家はみな扇を閉して居て、貯場兵や帰民の振勢

日計金七十一圓八十三十

|十四|| 京城府光郎町一丁目府義州通一、二丁目町倉

總計金十萬八 千九百七十三

十五圓八十三錢-京城

岩里扶除郡國防婦人會

雅岩 月 | 同 | 累計 金四萬二百二十

**圓五十一錢也** 

十六圓。忠清南道扶蘇郡寶

朝鮮防空器材献金

一十二圓二十九錢也

## 『愛國餅』を賣つ

|半島空の戦りに目配めて朝鮮時 非常時候後は投幕の手で攫れ 摘いて「甕園館」と名付け置つて 員が同地の普通學校運動會に舒を 南狭橋那葉岩の園跡館入会では倉「橋工場に送られ、その價額は二萬 | 全の護り

京城光郎町 が一分合が 献命校 | 費として 客話され、また本町三森 得た廿六周などが何れる防空器様 五千面に達してゐる

並近外國貿易民権管理法の強化に一に腐心し経産経構質付を希望して

を温車時間金として密託した 川回天堂内の回生會員一同は百四

ての所要原格に就いて刺動、對叛しもので、右に加盟せぬ鮮内薬者は れ政府許可方針決定による原稿権
|見地から同方面からの購入希望の **人五千萬風は日本期間のみによる** より紡績原格権人に制限が加へら ゐるので、本府は鮮内産業保護の

**医地拂下米相場** 夕刊後の市況

◆選士 ○選士 ▲監 皆石川 恵二郎 (全州 萬寶) 金森 秀一 (西鮮 (全州 萬寶) 金森 秀一 (西鮮

卓球(三大名)

◆選手 (第二高女)補消富 ・ 4島寿子、長島千魏子、坂 ・ 4島寿子、吉田千秋、山崎東子 ・ 山崎寺子、吉田千秋、山崎東子 ・ 東西千代子、岡田昌子、佐藤里 ・ 東西千代子、岡田昌子、佐藤里

◆總監督

(鎌道局) 岡田

重量揚げ

漕艇二人名

蹴球(10名)

仁川穀物出入 (11年)

|職員で子つてゐる只||にニュースを知らせる||が貼つて「ど出まかせを火きな真田しで書き「つたらしい。それに日本常は姉親||風かと云つた風景だ、北支は今級||が少い食め困難であつた||煙を担でゐる、住民 | 行する飛波機闘で歴に貼付し住民 | 我堂の独行権が当機戦落した」な | 全-然/虚報』であった事を知 | 採取に動物なく戦争など何歳吹く | 工具と蹴力工事に後事し 一長か三里館り取つたが何の架橋工一より更に廣く、水深は一米五〇だ つて進路に岩が突出して居り歩き 事状況視察が職に行かれるので御 か流速二米が二米五〇位あつて人 難いが考しい、指道の住民等は棉|は相當集まり鈴木、鯉登南部線 供をする、此邊りから精密地とな へてもなかく、受取らうとしない 午前十時 頃から0000 い限り牛馬の渡歩は困難だ、人夫 に辛うじて渡那田來るが城水しな れば工事の武最中だ、川棚は磨河 れ場所だなると思いつと何岸に出 林村 頃から信仰深い太田さんに離か恵 カスことが判っ ると残らしい聞い石だ、附近を見 速東京の専門家に確定を求めた 来城を迎へた、總督は先づ城郡牌名が飲利し、心から我らの總督の るとこの石が撤山ある。腸いて早 在城軍人、青年職、小學生物二千 初が制た、際前には邑の官民代表 政北知事や結井野鷲部長の出迎へ 湖を後に城港に向つた、途中の んだ眼物だらうと語つてるる、 を受けた、疑測は複音にとつては 遮湖の 人往を

靴に発拜、邑民の舞望によつて墓

鮮産棉花供給は 地場業者を優先 紡績業の原料難緩和

場合には優先的供給をなすべき旨

(要) 阿里爾子(第二高女)錄(阿)阿里爾子(女子 實來)由 本久枝(原)合派龍(培材)李耀縣(河) 国 本久枝 でヌ(同)内藤ソヴ(同)狢谷

ミンが非常に濃厚に含まれ

エビオス錠にはこのヴィタ

識となつて居ります。 **運用されることが今日の常** 

て居るからに他なりません

體力が衰へ、終には慢性の り、滋養分の吸收が鈍つて 腹の中に溜つて飽瀋盛が起食べたものがいつまでもお

を刺戦します。れが血液中に移行して神經

残治から便毒が發生し、そ

しはありません-

| 一階でた

お近じが滞ると不快なだけ

に移行しがちてす。

皇軍尉門全(群を略す)

十月廿一日取扱

**弓道**(大名)

◆逃手 ◆監督 (第二高女)稻田十

女子院督(總督府)补在轍▲女子弘▲男子院督(總督府)添姓玉▲

問院督(大邱高女)日野連

◆ 英 月 (皇龍)南海道(安 一 紙物會計)金容量(皇城群龍) 金 慶 東 ◆選手

韓型子 (臺灣)中島芳數、 岩城直、國安友雄、木鹽秀建 安村飯雄、藤井利一、毎川高正 西下昌禄、東江又雄

を實践して居ります。………ユビオス錠が質用とを實践して居ります。……ユビオス錠が質用の大なることは、今日の製造となってあるところで、種々の生物体製的製造となってあるところで、種々の生物体製的製造となっておいるととので、種々の生物体製的製造となっておいるととので、種々の生物体製造を関係しているが、

ことは、今日の映界の忘誌で既がざせた歌遊師のお思もの生物化製的質識の細彩もの生物化製的質識の細彩もの生物化製的質識の細彩もの生物化製的質量のおおものといいます。

のは、これが日本に於ける代表的な変消酵母だからです

外四組は男子部に先がけて石川屋 一氏引擎の下に二十二日夜京 高氏は本社へ教徒

輸入される城石で

BIO

分を補ふべくエビオス錠を

退します。その結果………

この胃液の分泌が減

て、かやうな場合には、先

つ不足したヴィタ ミンB 成

ィタミンB複合體が足りな

**鹽酸で消化されますが、ヴ** 

一の食物は先づ胃の

9

複合體が足りないときに起 食慾の減退はヴィタ ミンB

6第一の現象です・・・・・從つ

排球宣言

ため特に重質がられます。

食物が早く且つ良く消化さ

**働きが丈夫になつて** ス錠を連用しますと

分がいらくしする、心色が頭が重い、安眠できぬ、氣

が出來る……などは殆ん **ぶえず、ニキビや吹出もの** 

どこの影素の仕業なのです

物であるからです。 は、このヴィタミン

錠で腸の運動を正常にして

日然に便通を整へること。

州よりも、

むしろエピオス

療法としては習慣になる下

進まないと病氣の治癒を阻 殊に病験な方など…食慾が

エピオー

みますが、これを豫防する

◆監督 (第文局書) 事主候

純國産の麥酒酵母を

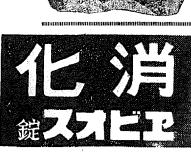
酵母剤はそれ た所謂『純粹

のみを埋葬し

トフェル よ

田安耶(維道局) 庫内流音













ののの数・1回の十十個 1000分・2回の大十個 100分・2回の大十個

株式會社 田邊五兵衛商店 株式會社 田邊五兵衛商店 株式會社 田邊元三郎商店 株式會社 田邊元三郎商店 大阪市県は海町17日 東京 西 株式 章 社

その本質に反することのやうに見 は男性的なテーラードの技法が帰

間でれ、イヴニングドレス、アフ

13、社會人として生きる事に何か

スポーツドレス、スーツ等に於て

されて居ります。附属しはブレー

イントは上半身殊に胸部におき、

きる道を長く奥へられないできた

### 三の再婚の問題について一ととの出来ない権利である 金に誘惑される結婚は 女より男に多い はるものは、意識するとしないに して理解出来るが、その根底に横 供もなく実に捜べての純償をさい 最後の殉死に至っては、その韓 事變さその後に來るもの 殘された强く生きる道

秘決は帯芯に は三河の 良質とされてゐますが帶をお

冬ェにュ向エつエて メリケン粉と

へこ れか反對に男性の場合で る道はいくらでもあらう ませない 非老庫せればならないと思ふまれない子供達のために社會 た行ひである、今日の女性必要 教びの手をまつ猟の遊な人や、 た行ひである、今日の女性必要 教びの手をまつ猟の遊な人や、 たけひである、今日の女性必要 教びの手をまつ猟の遊な人や、 おき はいくらでもあらう には、駐貸人として配貸に率仕す のやうに生活上の心配のない女性 が整備家であったならば整備に生 ▲八公 井須野子のやうに或は田 が、それが完極の目的で 村秋子さんの場合のやうに、それ 人が好 人が社會的に貢献する道

た行ひである、今日の女性の新ら

紹介いたします。 || 々、質用本位の低級な製品でなく

大戦の希望に添ふやう、大戦向工のたいよってひましたが、近来は時代の歌へ



島正

ソコーヒ

第四六段は形を直して自八四派 口七五歩と突掛けた 第四六段は形を直して自八四派 口七五歩と突掛けた 第一

落茂け!とばかりに八九二香だ」といり、東内穴段は、それならこつちも玉といり近す の人間無いは、一般のでは、一般の 

一の受飲家が潜しく増加し、

がない は、 いれ方の 強は光づ美味しい、 いれ方の 強は光づ美味しい、 いれ方ののコーヒーも無駄にせず、 個

先つ、シチューベン、又は

り、自然にお加段も上るとと

戦的でなく禁寒頂のある伊太して誰方がのんでもあまり料

ます。これで立張においしい をコーヒー茶碗へあってこし んだらば、片面ネルの漉し袋 人れ、匙でかさまぜ、すぐ火

いれ方

利式のいれ方を脚部介しませ

と思はれまずが、この一はい

た教量を解膜されるやうにな あちら風の

になりました。そこ

洗髪の後にはミツワ・ヘヤー

トニツク

刺散せず、節と柔を地間を決して危険が絶跡になく

●……「秋、も濡んで塗りました―」「鬼は鬼がないたしませら」のでは、まれからは冷いるに向ふ、合にふさはしい、手具な感染実践がある。これがらは冷いるでした―」「鬼は切らないといふ、こんな場 牛乳のメーキヤツブ に、ところで口の周階が硬ばる頃 ◆……こ に取り、能かに横になってやすむ

定つたものはありませぬが、只直 年の高さまで上げ次に口から息を 纵を充分に吸び込みながら開足を 立不動の姿勢でやるよりか、 深呼吸の方式として別数六ケ敷と **瓜立てつ 4 同時に南手を左右に**水 関手を載下し口を閉ち及腔よりす 【答】愛學士本田建義氏

つ、南手を下に使すると云ふ深れ

を一寸数へて下さい。呼氣に何秒間位要すれば良いか深呼吸の正しい行ひ方及吸氣、 深呼吸のし方

本品なら手早く面倒

洗濯ソーダを含まぬ

級

洗

なく洗髪が出來ます。

量分の函一

落ちがよいとて

大個人 金工組 大個人 金工組

文は赤くなる様なを失ひ、毛切れしゃた大切な愛が艶中に大切な愛が艶

危険を洗袋料が有 ります。

艶を増す

製造口 単東 京七一〇番東京日本福岡内岡二十番地東京日本福岡内岡二十番地

毛髪を柔軟に

※行ふことによりを園的に、工事 日本のなめに、のぞましいこと 置は (上) 金工花文配物 (上

●夜ょかしの朝なある

のコギーでシャンと起

きられます

お使いのオ

が吹いてもなんのそのと云ふとこ きますと、燃へてゐる冬の寒い風

る。そうしてしかも知らずく

うちにつやいかな、 うつくしい

ノボー ではありませんか

太やばてん

外国品ボリ

海 市

倉

癸

定便十五銭関係ニアリ

毗加毛器靴合式器 时器幣翔區川排序技术



**配憶力減退、頭痛、眩暈、腰痛** 全身倦怠、眼精疲勞、睡眠障碍 老衰現象に

エナルモンを用いて先づ自覚せらる。は 即ち実作用は参考的にして基礎新順代出 が活業、血腰等に好影響を異く、精神的 が活業、血腰等に好影響を異く、精神的

可修道市区大店店商戶長田武 監督 元度發 的 微 酱 兵 新 西 小肚 d 云 绘 京 市 应现代京厅 新究听获到职业网络 卧 d 云 读 解川 元 · 造 · 额

官龍障碍に賞用せらる

### 至に曉雲を縫ふ銀翼 には吼える高射砲

近代科學戰の粹を遺憾なく發揮し

# 旅團對抗掉尾の白兵戦

『城にて独田特派員後】過ぐる三日間心殿者間に土泉ます(くふる全市北南軍は成北の名略版山麓 を發揮し紙刷針に推吊の配納物類の大輪巻を展開、かくて西軍主力の右地誌で午南六時半ころればとれに呼離して吼る高鳥鶴、脚暗い拂線に進泉をたゝへて火を叩く輝展鋭、まさに派代一段の光彩を添へ、旭日に映える飛繋は、 承色二人族き第山を包む胡鶴を聞いて優計勇主しく一段の光彩を添へ、旭日に映える飛繋は、 承色二人族き第山を包む胡鶴を聞いて優計勇主しく 嘅、十九日末明雪館棚高地に遠湾泉旅江駅前機を演じ文〇〇方面から泉来した生まれ続の 季加や、前夜平来、行動を開始した南北・南軍は何れる歌伎に乗じて各々製波河泉北方銀幣棚を目さ受金寅、製窓河と北心に相針峠のま、十九日その最終日を迎へた、この朝、天氣暖鯛、裾谷の景を笛、製窓河と中心に相針峠のま、十九日その最終日を迎へた、この朝、天氣暖鯛、裾谷の

名譽の戦傷 者双里氏

既をそれらく組織したがこの所派と火魔、田中公客校長の發起で青年

説の配給不足と輸送不同情が品職

を交々語つたがお客所の木炭新教 がらうから発急に手配して製炭 だらうから発急に手配して製炭

れる、これは時局關係による内地

の主因をなしてをリ必需期を燃へ

て今後の影像は高価持續を強制さ

この提合下脱在所首席の養起で防って職場】非常時間に對魔するため

團ご青年團 

・ 中年の需要組を高能に比し内 てあるが開氏は ・ 中年の需要組を高能に比し内 てあるが開氏は ・ 専作の関係で表現くものが少い

下消設置、安美川水路製度等につ、げた

張領事奇禍 ポプラの大木倒れ

内地彩上華廿四圓五十樓、鮮芹彩(瀬で敷かにたへざるものあり、是「興業である郡駅を仲間、京水郷道「元山」昨今府門に於ける百窓は「木彩野戦戦力を戦勢したが配る品」李光謇ら地元有志から同地多年の「

鮮内炭もこれに追隨して昻脂

この冬は辛いです

人が同業等内に入込んだとの想定 非常召集を行ひ根地範囲の東大利 非常召集を行ひ根地範囲の東大利 に入込んだとの想定

「永同」沃川曹松野では去る十

小宮郷是總指揮の下に物々し

上等十七回五十銭から十九回に第一谷川技師とも繊維して封筑を積つ一の紙装工事に伴ひ下水源段置、プ

一對する有志の条附金が五百餘圓

日南瀬貝の猛闘線を行つてゐる

農振批判會 【永同】 法 【成興】 佐藤成南山松磯長は十九

田中校長竹下部長の指導の下に毎 に建したのでこれで膨胀を調製し

れてみる

木炭も不足

陰城文廟釋奠 [赤]

領事は十九日午後領事館構内にあ

手術する程の重傷

れが領事の際に倒れ盟領事は

Φ.

びく機構

開城府廳舍

【清州】唇では左の日割により

に日ヤ

清州の大掃除

だて濱田特派以及) 精攻撃に亜ぐに接攻撃、夜を日についで賜行また弱行… 里倉次氏は去る〇〇日歩兵上警兵「川郡安内面では來る二十六日各面「日山松谷の木炭倉庫を始い府内の」 【仁川】日本製粉仁川工場計員次

十八日の戦闘情況

運搬船はやく送れ

とても場けされぬ鰮水揚げ

機能等をとり且つ夜間の防禦を阻しつより無私し南軍の訴突猛地に對し反撃するの地に「中国を配位し主力を冠補東北側地區」



3大戦が押し上せ遠大地域に拠き「顧客手嘗を厳したが、十日午後五「指郷具舎を開催したが田聖者は三」 ▲朱史町須田半六郎(ず)▲日之(香津)十八日観披御門一杯に鰛「中を家人が發見正ちに勢師を迎へ一十一時から組合革が宝でを暗落の」氏を挑戦した

温大津沖で一日に二十萬樽

地域祭は諸負人村上破一郎氏、金

| 陳急手當を施したが二十日午後五 | 指導具合を開催したが田府者は三 |

時頃遂に絶命した、原因は同女は



# しも肉弾あり

鏡域費内にあり、漁大排沖を中心

金組指導員會 [永回]

英江金融組合ではよる十四日年前一次の高齢を歴安合に確では左の四一總統員。ま作の改良指導を行つ英正金融指定的「大田」目にあたる十一月十二日前總督招「に自り無罪守が興頭に立ち場職

【仁川】國民猪神作興迦開第六日

高齢者慰安會

仁川から四人

沖には鰛漁船が雲集

清津のため大いに祝福した

さいべりや丸船長らの話

三仰つ程の大瀬で漁港から市中に

S演都の陰揚げ場に揚げ切れず

大漁獲あり運搬船を皆促し

谷工場は異菌を吐いて徹野操作、

ものらしい(製真は自殺した余月) 男心に秋風が立つたのを悲観した 愛人と愛の集を替んでゐたが近頃

の日の水揚げ一日で二十萬樓、

丈餘の斷崖から身を躍らした中隊長

魔規にて濱田特派養後】十九師一方を願み勇識身を難らして史絵の その眞剣さ、旅團長も泣 して上四九十七歳を国防献金した一数里に機を諸段備、記念盃一千節、

祝賀の催し 山な計畫を進めてゐる

> だが相場は下つて生ಟ三圓二十銭 者はほくほくものである。十九日

妓生の

服毒自殺

永登浦】甘鹿京東道知事は二十一集の訓示を興へた後安養に赴き西

那種に入り、郡守軍で能川都守か 5帝内肤泥報告を職取、職員に一

男心を恨んで

【開城】商工會議所の調査による 開城の貿易

立されて以来概念英才を禁出し朝 【済州】榮町普通墨校が明治四十 年、清州公立著語學校として段 品展験者、教育地園整備、校歌教場、サイレン設備、見意 綱纂、滕代校長寫眞製作、見前理科器 機熟備、三十周年 股东

忠北道内の業者ら

燃ゆる赤誠を披瀝

第二日北軍が騒攻不落とたの一てその行動たるやまでに質敬その 海南高地の攻略に既し南軍所 | まゝの眞和言でこれを目撃した田 Mにはじまれて苦戦する味 して涙ぐんだといふ 建放販売もその勇肚な行動を戦変 | 断能を飛び降り肉弾もつて居列か 第一脚を酸射し味方の別を鼓舞し 構場を引招り砲を山上に運び自ら 清州榮町普校

棉花共販は樂觀

忠北の出廻り漸く活氣づき

相場も多少特直る

西本町三八五開明祭番の奴生金月【開城】美観を謳はれてゐた府内

ため大連へ出量中の何野剛転達一の関節列車で騒化、十八日生動の魔井】傾何の支店長宮麓に用第一款支店長はまる十七日午後十時常

待望の國際ビル

◇……河野氏の土産話

豫定通りの竣工は難しい

藤井本社特派員の

部隊に変軍し山岳戦に或は一時千里泥濘の【七川】蜿蜒八百餘里に及ぶ北支戦概〇〇 事變映畵△上映

六兩日仁川瓢館で

高金』を廿五、廿六日の南日嘉館で開催す 配した藤井本社特派員の「北支職闘報告講 ふべく董井牧派員の熟練に苦人の血を沸か、歌死闘戦とそは墓軍戦史上不満の文字とい 時、何三時の二回に亘つて開場、講演に賃 すであらう、廿五、廿六の兩日ともだ

いて酸情を駆牧し、終つて前組織物、安全プール、思主服等を測数。 午後六時半路線とた

スパ大事件! 沃川署の演習

大いに将來を朦朧図してをりい、一大いに将來を朦朧図してをりいつて意無込んでゐましたのいって意無込んでゐましたの言したの言をは既然に出かける さる二十日長逝した冒着電、 いがに後途されて蝦港中、 元軍 東京教に参加中部 中央

# 内地炭は四割高

時先つ交登論理に立ち寄つて効果。武後一回根がそのけて同四時半齢時先つ交登論理の観視を行つた、午後二一器長、有り着ら米収数十名利腊しほへ近月初度認識の最後に確され、同本近畿、採め工育頭その他官公は、「 **奪した(窓道は地域祭)** 式後一阿昵杯をあげて同四時半数 岡本道識、棕角工會頭その他官公 「自己干事法(心)金永洛(い)の五名 内で金日成(皇) 探承責 だ 永成職 日午前二時頃松峴町八三の土泉

土幕で賭博

清津のために大いに祝福したよの漁獲があるやうに見受けられ

日尹産薬が長、宋産業就長らを「一面で沖升、栗原、松本、尹敬美(は云ろ上)日正午から開催 蠶業技術員會議 川発員が結込んで逮捕したかる

9

な

一方不明となつたが開炭府内に降 索里 | 七 | 全世の城空武機(\*o) 娘の家田 | 「開坡] 平城府 あるらしいといふので父親か 一十日午後六時旬無閒家山 水井府尹開遊會

チンネマト 海劇

それば何故?

アス

歐米婦人は

滴でお化粧

で違ふ モチもマル の美しさも

ホンノニニ 

いゼンを使ふ! 6)

ノ水粧化切蹋新の果効重

崩

れ

な

とろを野官に捕へられた 霊隠れしたが数十七日午前十時 安金干職(゚┓)□假名□によるよ 大膽な少女 主金を流む に一等

+



では、 く 取へるりです。 と作用して見越へる歴 に作用して見越へる歴

クリンシンとは

る

睡眠美容で最近流行の

な

下粧化・容美・顔洗 用作重三の

る

違



困る兒童を救つて名を語らず

そツと獻金した少女

日の丸辨當で献金の女學生

内面・計画を対する。

神中慰安は『我れ戦へり』 クロダ歯科

研酒

鬚部隊の鬚隊長

斯四六米。 東西六米。 東西六米。 元月店、 元月店、 元月店、 

告に限り仲にを固にて複数す。例五十銭屋名は一関番に五十四番に五十五世紀は一関番に五十五世紀十二四番に五十五世紀十二五世紀十二五世紀十二五世紀十二五世紀十二五世紀十二十五十二世紀十二十二十二十二十二十二十二

家政婦人を求り住込会に、お前町四十三番地中谷商

深水香油

淡晶晶彩

戦争の匂ひもな

わが軍に支那兵 歸順を申出て雜役に

人が大力が 一大大力が 一大力が 一

に味は

な實感 異樣に映る.女軍出征

しかし上海は上海であつた

安んぞ知らんや

ズセ辞日二

1115

社會式株類滷和田

映画学より二十年を大大コル ・ 大田大学寺で、高野アペート ・ 東西学より二十年を大工 ・ 東西学は、高野アペート ・ 東西学は、高野アペート

是作軍手の軍足が第一

足の御用命は弊所へ

バイロット<br />
お服態<br />
玉字 日本趣味初係返用師

島同胞三千名を乗せて

不可不 銃後にペンを抑ふ 聯線に劍を指ひ

₹ 3.50~

た天英 天使絹綿 綿

场工定指省取法 和智慧軟料左會計

卿下に設けた。愛國箱

針はお互て

●各地博覧會品評會に於て數回受賞

品質保證=價格低廉 (定價ロリ五分引)

絹織物出張販賣 攘 刑 務

今回に限り特價提供

場所 京城府本町二丁目九七 (居族市) 場所 京城府本町二丁目九七(蘇城市) 陳列會開會日時十月二十三日のマデニ」日間 京 染 流 行 **箕城織京城直賣所** 

